





学生留学コース

期	氏名	留学先	留学期間	留学概要	現在の所属及び直近の活動状況
1	坂上 涼一 	フィンランド	H29.8~H29.12 (5か月間)	多様化した観光ニーズに対応するため、スマホアプリの開発など高度なIT技術を学ぶ	(株)クリエイティブ リソースインスティテュート(東京) 不動産管理業務のシステム発注業務
	高橋 宗一郎 	イタリア	H29.9~H29.12 (4か月間)	イタリアの天然酵母の生かし方を研究し、道産ワイン産業に貢献	(株)丘の上のわくわくかパニー(鶴居村)ソムリエ 地産地消料理に合うワインの提供方法等を研鑽
	中川 峻貴 	マレーシア、インドネシア、UAE	H29.8~H30.1 (6か月間)	ハラール食の現地調査で道内企業からのハラール食輸出などに貢献	(株)アミアップ(札幌市)工場製造課 機能性食品の抽出、培養等の製造業務を担当
	畠山 陸 	ベトナム	H29.8~H29.11 (4か月間)	東南アジアでゲストハウスを立ち上げ北海道との交流拠点に	(株)C000N(大阪) ソーシャルビジネス×クリエイティブ事業の会社を起業
	福沢 大貴 	イギリス	H29.9~H30.1 (5か月間)	ファッションを通してアイヌ文様を世界に発信し、アイヌファッションの逆輸入を目指す	(株)オアシスタイルウェア 天神地下街店(福岡) 接客、販売のほか、EPSONと連携した服製作
2	伊藤 昂 	アメリカ、オーストラリア、オランダ	H30.9~R1.6 (10か月間)	世界基準のコーチング技術や国際大会運営マネジメント方法を学び、テニスの国際大会の道内での開催を目指す	北海学園大学4年 プロテニスプレーヤー内山靖崇氏と共同でテニス大会をR3.9月に札幌で開催
	立岩 文武 	オーストラリア	H30.9~R1.6 (10か月間)	北海道で大規模農業を持続させるポイントを学び、海外のバイオマス資源について学びを深める	東京大学大学院修士1年 バイオマスから作る環境に優しいプラスチックの研究
	林 泰佑 	フィンランド	H30.9~R1.8 (12か月間)	アアルト大学ウッドプログラムへの参加や先進的な木造建築技術を学び、日本における新しい木造建築を目指す	(株)久米設計(東京) 建築設計業務を行い、北海道での活動準備
	星野 愛花里 	キルギス	H31.1~R1.12 (12か月間)	地域農産物の生産・流通についての調査実施と北海道との農産物の輸出入の可能性を探り、北海道の農業に貢献	栗山町地域おこし協力隊(栗山町農業振興公社) 栗山町農業振興計画策定のための農家調査
3	石垣 のぞみ 	ドイツ	R1.10~R2.8 (11か月間) R2.3~8中断	本道の農業経営に生かすため、環境立国ドイツの有機農業やファームを学ぶ	帯広畜産大学4年 土壌学研究室で土壌の特性や作物との関係を研究
	有働 篤人 	フィンランド	R1.9~R2.5 (9か月間)	先進的なゲーム制作やVR開発を学び、北海道をデジタルコンテンツで発展させるための端緒をつかむ	北海道大学大学院 情報科学院博士2年 ゲーム開発、VRデータの作成を機械学習で補助する技術の研究
	海辺 菜々美 	カナダ、アメリカ	R1.9~R2.3 (6か月間)	需要側のニーズと供給側の意識のギャップに注視し、アドバンチャーズの調査研究を行い、道の地域資源を生かした観光振興を図る	北海道エアポート(株) 運航情報課で運航に関する情報管理等を担当
	立花 洋太郎 	ノルウェー	R1.8~R2.1 (6か月間)	ものづくり職業教育の実施学校を視察し、インタビュー調査を通じて職業観育成について日本との違いとICTを活用したものづくり教育を学ぶ	上越教育大学大学院修士1年 大学院でICT教育に係る専門的知見を研究
4	大久保 辰哉 	オーストラリア	未定 (4か月間)	子ども向けスポーツプログラム運営方法やスポーツ施策の促進方法を学び、本道の子どものスポーツで元気にする活動を目指す	小樽商科大学3年 留学延期中

スポーツコース

期	氏名	留学先	留学期間	留学概要	現在の所属及び直近の活動状況
1	齊藤 雄大 	アメリカ	H29.8~H30.7 (12か月間)	障がい者スポーツの先進技術や指導・運営などを学び、道内に障がい者スポーツの拠点を作る	北海道バハカレッジ 専門学校専任教員、HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS 代表 障がい者スポーツクラブの運営、運動機会の創出
	廣田 修平 	アメリカ	H29.11~H30.2 (4か月間)	体操競技の先進のジュニア育成方法を学び、道内の体操競技選手育成を図る	北翔大学准教授 スポーツ指導における基礎知識や技術習得を指導
	山 あずさ 	ニュージーランド	H29.11~H30.10 (12か月間)	強さの秘訣や指導方法、女性だからこそ伝えられることを学び、道女子ラグビーの普及とバリエーションを図る	北海道バハカレッジ バリエーション 麗澤中・高ラグビー部コーチ ラグビー部レイングコーチとして男女中高生に指導
2	梅村 拓未 	ドイツ	H30.7~R1.5 (11か月間)	ボール運動指導プログラム「バルリュレ」を実践的に学び、北海道の子ども達の運動能力向上を図る	北翔大学短期大学部講師 乳児期の子どもの運動発達や小学校体育授業に関し学生に指導
	田中 怜恵子 	ニュージーランド	H30.1~H30.8 (8か月間)	ラグビープログラムに参加し、楽しむラグビーの指導方法を学び、北海道の女子ラグビー発展に貢献	北海道バハカレッジ バリエーション 所属のラグビーチームで活動中
3	向井原 洋平 	アメリカ	R1.7~R2.10 (12か月間) R2.6~8中断	最新のスポーツ医学の知識、最先端の治療・リハビリ技術、トレーニング方法を習得し、道スポーツ界に貢献	王子硬式野球部トレーナー メディカルとトレーニング、コンディショニングを担当

文化芸術コース

期	氏名	留学先	留学期間	留学概要	現在の所属及び直近の活動状況
1	西野 留以 	アメリカ	H30.1~H30.3 (3か月間)	幅広いジャンルのダンスを学び、海外と北海道がダンス文化でつながる交流を実現	Fe.dancestudio ダンススタジオの講師としてダンスを指導
2	鴻野 祐 	フィンランド	H30.7~R1.6 (12か月間)	アアルト大学のウッドプログラムを受講し、生態系や林業の中での「木」に関する学びを深める	浦幌町地域おこし協力隊 (株)パトプラス 木工・家具等商品開発、デザイン制作業務
3	清水 柚衣 	ハンガリー	R1.9~R2.6 (10か月間) ※みらチャレとしての留学(助成)期間	音楽に溢れた北海道づくりを目指すため、著名なピアニストのレッスンを受講	リスト音楽院修士2年 留学中(北海道特派員としてR4.7まで留学継続)
4	北浦 由花里 	ポーランド	R3.11~R4.10 (12か月間)	ポーランド音楽の研究と質の高いピアノ演奏技術を習得し、本道とポーランドの架け橋となり世界に通用するピアニストの育成等を目指す	ルデリック・ショパン音楽大学 大学院修士2年 留学中

未来の匠コース

期	氏名	留学先	留学期間	留学概要	現在の所属及び直近の活動状況
1	古里 裕之 	フランス	H29.7~H29.12 (6か月間)	発想力、手法、プロフェュの仕方、ジビエと酸の料理を取得し、道産食材で表現する料理技術を高める	レストランDAFNE 料理長 ジビエや地域食材を活かした料理の提供
2	今村 直史 	ニュージーランド	H30.11~H31.4 (5か月間)	ワイン用ブドウ品種の栽培技術を習得するとともに、ワイナリーの運営も学ぶ	(有)鶴沼ワイナリー ワイン用ブドウ栽培作業の立案・運営
	服部 大地 	イタリア	H30.9~H31.2 (6か月間)	ハーブ、乳製品、ジビエ等の地域資源を活かした伝統の調理法を学び、北海道ブランドメニューの開発を目指す	(株)丘の上のわくわくカンパニー 取締役・シェフ 地域食材を使った料理、商品開発、レストラン経営
3	鹿野 皓己 	ドイツ	R1.9~R2.2 (6か月間)	ワイン醸造の最先端技術を学び、道産ワインを世界に流通するブランドとして確立させる	北海道ワイン(株) 留学成果(醸造技術)を自社ワイン工場実践